

F U J I S A N N E T W O R K

ふじさんネットワーク

URL/<http://www.fujisan-net.gr.jp/>

情報誌 2000. 秋

Vol.5



特集

ふじさんネットワーク会員連携事業「富士山子ども自然塾」レポート 富士山、楽しい体験ありがとう!

この夏、「ふじさんネットワーク」初の会員連携事業「富士山子ども自然塾」が実施されました。参加した子どもたちは小学校、中学校の生徒27名。植樹や下刈り、富士山の自然観察や火口の観察など、子どもたちには初めての体験ばかりとあって、どの顔も興味津々。みんな夢中になって体験学習を楽しんでいました。後日、子どもたちからは、「富士山の自然に直に触れることで、自然の厳しさや偉大さ、環境を守ることの大切さを実感することができました」そんな感想文が送られてきました。

概要・目的

実施日 平成12年8月20日(日)~22日(火)
(2泊3日)

場所(宿泊地) 静岡県立富士山麓山の村

目的 小中学生を対象に、富士山の環境保全に関する講義、活動、意見交換等を行い、環境保全への認識と自然環境全般への理解を深める。

協力会員と内容

富士山ナショナル・トラスト
「富士山体験学習」・御殿場5合目周辺自然観察
・植樹
・宝永山火口観察
・宝永山自然観察

富士常葉大学
「富士山大講座」
・富士山の植物
・富士山の動物
・富士山の地質

土研究事務所
「富士山全般講義」

珍しい蝶との遭遇に歓声! 富士山自然観察会

自然塾最初のプログラムは御殿場5合目周辺での自然観察会。図鑑でしか見たことのない「メイゲツソウ」「フジハタザオ」「フジアザミ」などの植物を直に観察し、説明を聞いていると、珍しい蝶に遭遇。子どもたちからは驚きの声があがりました。



「小さい草でもふまないで、ちゃんと命があるんだから」という意味の言葉は、すごく心に残ります。
(望月華奈子 小5)



富士山ナショナル・トラストのメンバーの指導の下、「パッコヤナギ」の植樹を行いました。



昼食後ヒノキの原生林を観察。初めて見た「溶岩樹型」にみんなビックリ!

富士山にはのいちごがいっぱい。にがまずっぱかったです。
(牧田里佳子 小5)

自然の厳しい富士山にがんばってはえた植物や、がんばって生きている小動物たちが失われないように、できることから努力していきたいです。
(牧田志穂 中1)

大学の先生方たちの講座もとてもわかりやすく楽しかったです。
(渡邊綾乃 小6)

上の方を見ると山に小さな植物がたくさんあってきれいでした。
(田中いづみ 小6)

背丈ほどの下草に悪戦苦闘の初体験 富士山体験学習・下刈り

富士山の環境保全についての説明の後、富士宮市粟倉の市有林の下刈りに出発。カマを手にするのは初めてとあって最初は危なっかしい手つきでしたが、平成9年に植樹した苗木のために、みんな一生懸命に下草を刈りました。



富士山にカエルがいた! 富士山大講座

富士常葉大学の前田教授たちによる大講座では富士山の植物、動物、地質についての講義が行われました。スライドを見たり、カエルに触ったり、草笛を吹いてみたり、そんな楽しい体験に子どもたちは大喜びでした。



草を手におき「ボン!」と鳴らしたり、草笛を吹いてみたり、みんな大ハジャギ!

下から雲が来るのはドキドキしたよ。
(師岡美佳 小6)

質問殺到。富士山はどうしてできたの? 富士山講義

静岡大学の土名誉教授を講師に、富士山の地形、成り立ち、地下水などについて、スライド等を活用した講義が行われました。「富士山はどうしてできたのか?」「富士山の高さはどうやって測ったのか?」「富士山は噴火しないのか?」など、子どもたちから素朴な質問が飛び出し、楽しい講義になりました。



3日間友達と協力できたし、空気がきれいだから、ずっといたくらいでした。
(田村実穂 小6)



初日の夕食はみんなで自炊。お釜でご飯を炊き、カレーライスをつくりました。



2日目の夕食はプロのつくった「ハンバーグ」。子どもたちに大好評でした。

見るもの触れるもの初体験の山登り 宝永山学習

富士山ナショナル・トラストのみなさんの案内の下、新5合目から宝永山までの山登りを体験しました。慣れない山歩きながら、途中の森林限界の植物観察、火口の見学など子どもたちには好奇心をくすぐられるものばかり。今回の自然塾の中で一番印象に残ったという声が多く聞かれました。



3時間あまりの宝永山学習では様々な富士山の自然に出会うことができました。

一番楽しかったのが、宝永山のまわりを歩いたことです。いろんな石や岩が見れてとても楽しかったです。
(杉山知里 小6)

宝永山ですごい坂が急だったり、火口がすごかったのでビックリしました。
(福島義人 小6)

もっともっと多くの子どもたちに環境教育を

子どもたちから送られてきた感想文には、自然塾で体験した驚きや感動が、たくさんつまっていました。こんな体験をもっともっと多くの子どもたちに伝えたい!こうした環境教育をひき続き実施することができるよう、会員の皆様のご協力をお願いいたします。

夏富士の 活動報告

真夏の大作業 下刈り

総勢213人がボランティア参加 富士山3776自然林復元 下刈り作戦 静岡県

平成8年の台風により大きな風倒被害を受けた森林を自然林に復元する「富士山3776自然林復元大作戦」によって植樹した場所の下刈りを7月16日から8月21日のうちの6日間、富士宮市粟倉の国有林など6.5ヘクタールで行いました。呼びかけに応え参加したボランティアの数は総勢213名。植樹された苗木たちの生育を守るため、暑さの中、汗を流しながら下刈り作業を行いました。



富士山の森再生活動 自然林再生への活動 富士山自然の森づくり

植栽(4/23.5/21.6/17.6/25)、伐採(5/7)、下刈り(7/23.7/30.8/27.9/24)の山作業や、小・中・高校(4/26.5/25.6/29.7/6.7/13)、国際植生学会(8/3)、グリーンカレッジ(8/5・6)宇都宮大学(9/28)の講師、自然資源保全協会の「森づくり体験」(伐採・下刈り・講義。8/28・29)の企画・運営・指導及び動物調査、自然観察など自主自律の活動を続けています。また4月より富士山募金の森造成活動(平成12年～21年・33.7ha、地拵え・植栽・下刈り・補正)にも取り組んでいます。

下刈り...自生種を刈りとらないよう注意しながら刈りをするにより光をあて成長をうながす。周りの小灌木、カヤ、つるものは除去する。

豊かな地下水を呼び戻そうと 富士山の下刈り

柿田川みどりのトラスト・三島自然を守る会他

柿田川みどりのトラスト、三島自然を守る会等、県東部地区の自然保護団体が組織される「柿田川・東富士の地下水を守る連絡協議会」が、7月30日、富士山の下刈りを行いました。

2880人が1510キロを収集 富士山一斉清掃

富士山をいつまでも美しくする会

一斉清掃実績

	参加団体	参加人数	可燃物	不燃物
平成12年度	149団体	2880人	630kg	880kg
平成10年度	148団体	2927人	820kg	845kg

11年度は雨のため中止



恒例の富士山一斉清掃を今年も8月20日、実施しました。2880人が2時間かけて集めたゴミの量は1510キロ。前年と比べて減少したものの、草むらや岩影といった人目につきにくい場所に、ゴミが捨てられているケースが目立ちました。

平均チップ額24.4円 富士山チップ制トイレ

平成12年度富士山トイレ利用状況

	処理・形式	トイレ基数	稼働日数 (A)	利用者数 (B)	1日当利用者数 (C)(B/A)基数 (「1基当たり」)	1日最大利用者数 (D) (「1基当たり」)	チップ総額 (E)	1人当 チップ額 (F)(E/B)
芙蓉プロポーション株式会社	バイオ・コンポスト式(オガクズ)	大1・小1(一室)	45日	8,042人	179人/日	340人	338,287円	42.1円
ワールドIN遠州株式会社	浄化循環式(パルジェット水処理)	大1	45日	4,879人	108人/日	243人	94,423円	19.4円
株式会社環境保全研究所	バイオ・コンポスト式(スギチップ)	大1	41日	3,057人	75人/日	262人	70,190円	23.0円
富士宮 公衆トイレ	浄化循環式(水洗)	7基(男子トイレ大1,小3,女子トイレ3)	54日	42,678人	790人/日 (1基当:113人/日)	3,170人 (453人/基)	1,133,411円	26.6円
小山町 公衆トイレ	浄化循環式(水洗)	6基(男子トイレ大1,小2,女子トイレ2)	55日	35,999人	655人/日 (1基当:110人/日)	1,755人 (293人/基)	698,646円	19.4円
富士山クラブ	バイオ・コンポスト式(スギチップ・水洗)	2基(男子トイレ1,女子トイレ1)	58日	4,934人 男性3,207人 女性1,727人	85人/日(2基) 男性55人/日 女性30人/日	男性142人 女性87人	97,657円	19.8円

この夏、富士山須走口新5合目で、企業の協力を得て富士山にふさわしいトイレの実証実験を実施しました。便槽へのゴミ投入や週末における集中利用により微生物が働



きにくくなることなどが問題として挙げられました。また、1人100円程度の協力金をお願いしましたが投入金額はその1/4にも満たなかったため、今後も利用者負担への理解を求めていく必要があります。

身近な自然に喜びを

三島・自然に親しむ会

駿東郡清水町八幡71-1-2509
TEL・FAX/0559-73-6628



私たちの『三島・自然に親しむ会』は、自然観察指導員のメンバーを中心に、地域の身近な自然を楽しもうと発足しました。以来十数年、月1回程度の観察会と年1回の会報の発行という形で活動を続けています。

周りを国立公園に囲まれ、フィールドには事欠きません。富士山麓の奥深い自然や観光地ではない箱根の魅力を求め、また伊豆半島の海岸生物を楽しむ、まさに地の利を活かした観察会を行っています。

現在会員数は80名程です。『会』としては、何かをしなけ

ればならないという規制はありません。

観察会を媒体に、図鑑と首引きの人、重いカメラを離さない人、絵を描く人、短歌を作る人等、各人がそれぞれの方法で自然を楽しんでいます。

ここ数年、地域の子供たちに自然の面白さを伝えたい、そんな趣旨でセミの羽化の観察会を行っています。夕方から始まるセミの羽化は参加した子供ばかりか、付き添いの大人まで魅了するようです。時間のかかる羽化を見続けるというのは子供にとって決して楽な作業ではないと思われるのですが、その神秘的ともいえる美しさ、力強さに時の経つのも忘れてしまうようです。ただ街の中で、安心して観察会を行える場所を見つけるのが一苦労です。せっかく地上に出てきたセミにとっても生きにくい世の中なのかもしれません。

大自然と呼ばれる美しさは捨てがたい魅力がもちろんあります。それでも本当に身近な道端や畑の雑草に、川原を飛び回るトンボやチョウに「小自然」の美しさを見出していく、そんな精神を忘れずに、細々とではありますが、今後も活動を続けていきたいと考えています。

富士山を守り富士山を研究する大学

富士常葉大学 環境防災学部

富士市大淵325 TEL/0545-36-1133 FAX/0545-36-2651

<http://www.fuji-tokoha-u.ac.jp/>



私たちの富士常葉大学は本年4月に開学し、ふじさんネットワークの仲間入りをさせていただきました。

私たちの大学では、富士山の成り立ちや自然の生態を研究し、富士山の環境を守ってゆきたいと考えています。

本年4月、新入生達はエコ研やピオトープ研を立ち上げ、環境の勉強を始めました。早速、富士市及び静岡県の植林事業には65名が参画し、台風で荒れた風倒木地帯に苗を植えました。これらがどのように育ってゆくかに関心を寄せ、来年もぜひ来たいといっています。夏の下草刈

りには、たまたま試験時期と重なったこともあり、学生は参加しませんでした。来年は是非大勢でお手伝いしたいと考えています。

専門課程の授業が始まると、富士山の動植物や生態のみならず、火山としての富士山の成り立ち、熔岩等の噴火の歴史や地下水の流れ等も勉強し、富士山についての本格的な観察・調査が始まります。丸火自然公園地域をモデルとして、自然循環系の長期にわたる観察と調査の実習により、富士山の自然の成り立ちを学びます。

私たちは、富士山の活動を宿すフォッサマグナ周辺の地殻の動きについても監視の目を広げ独自の精密測定を行い、岳南の富士、富士宮、芝川、富士川等の地域の地震防災に積極的に関わってゆきたいと考えています。精密な防災マップの作成をとおして富士山の活動もにらみつ、富士の地域の将来にわたる環境防災の諸問題を富士大の中心的課題として研究を進め、地域の中の大学としての役割を果たしたいと思います。

この夏は「ふじさんネットワーク」ホームページの「掲示板」が大賑わいでした。全国各地から様々な声が寄せられ掲示板は毎日満員御礼状態!中でも最も多かったのは「富士登山に関するあれこれ」。初めてチャレンジする人からの質問や、そんな質問にいてねいに応えてくれたアンサー、登って初めて知ったゴミのことなど、様々なコミュニケーションが繰り広げられました。今回はそんな中からのピックアップです。

掲示板

登山道で逢いましょう

投稿者:ちいぼうさん 7/24

はじめまして。7月28日から29日(金~土)にかけて登ります。毎年恒例の富士登山です。私の場合、雲海に顔を覗かせるご来光と、(行きつけ?)の山小屋のおじさんに会うために何だかんだと理由をつけてしまっています。何年も登っていると、登山ガイドさんと知り合いになったり、毎年ついつい行ってしまふ行きつけの山小屋が見つかったりと、楽しいことがいっぱいです。今年は元気な女性3名が、気合いを入れて登ります。仕事を定時で上がり、そのまま山に向かうというちょっと無謀な計画ですが、かえってハイテンションになっていると思います。でも高山病の怖さも知っているので、ムリはしませんヨ。たぶん10時ごろから登山始めるとします。掲示板をご覧になっている方がいましたら、「ちいぼうさんですか?」と気軽に声をかけてみてください。では登山道で逢いましょう。

Re

投稿者:ひろきたさん 8/30

自分もそう思います。今年も富士山に登ってきましたが、やはりゴミとトイレの問題は年々大きくなってきていると感じました。その一つの解決策が入山料であっても良いと思います。また入山するときのルールをもっとわかりやすく各ルートの入り口、途中に示すべきだと思います。そしてトイレはやはり公共のトイレを設置した方が良いと思うのですが、これは技術的に不可能なのではないでしょうか?富士吉田ルート下山道7合目にあるトイレのようなものをもっと増やすことはできないのでしょうか?

Re

投稿者:あっぱれ!富士登山さん 8/31

富士宮口5合目の少し上にあるトイレは、建設費2億円、1シーズンの維持費が1000万円、チップによる収入が約67万円だそうです。全然回収できていません。費用の問題も大きいでしょうね。

Re

投稿者:ひろきたさん 8/31

あっぱれさん、情報ありがとうございます。しかしすごい費用がかかっているのですね。30万人から¥100取ったとしても、3箇所の維持費しかでないとは...。トイレの問題がこんなに大変とは知りませんでした。

下山後に風呂浴びたい

投稿者:りかささん 7/28

御殿場口の砂走りを走り抜けた後って、もの凄く砂っぽくなりますよね。下山後、温泉に行きたいのですが、どなたか良い場所をご存じでしたら教えてください。そうそう、移動手段はタクシーかバスです。

Re

投稿者:あっぱれ!富士登山さん 8/4

御殿場口と御殿場駅の中間に「御胎内温泉健康センター」というのがあります。タクシーなら行けます。

入山料はとれないの?

投稿者:富士宮憂い丸さん 8/28

8月26日朝、夫婦で、富士宮口から登頂しました。お鉢めぐりをして、御殿場ルート、宝永火口を経て下山しました。天候に恵まれ、全体的にはすばらしい登山になりました。が、残念な光景がありました。お鉢めぐりの際、北側(富士吉田ルート頂上付近)の斜面一面に空缶、空きペットボトルなどが散乱していました。また、ゴミを野焼きした跡がありました。富士宮ルートの頂上付近ではこんな光景には気がつきませんでした。登山者のモラルが問われるべきですが、期待しても裏切られるだけでしょう。この際、入山料をとり、それで清掃、トイレ整備などをしてはどうでしょう?雇用の一助にもなるのではないのでしょうか?ゴミの野焼きは、山小屋の経営者のモラルの問題と思いますが...。こういうことはどこが検討するのでしょうか?今まで実施していないということは、問題が大きすぎるのですかねー。富士山が泣いています。

Re

投稿者:みつきーさん 8/28

昨日の夕方のニュース番組でも富士山のゴミの問題を取り上げていました。今年初めて富士登山をしましたが、夜間登ったせいか自分自身ゴミを目にする事はありませんでした。せっかく富士山のいい思い出が出来たのになんだか腑抜けです。富士山に登ろうという人に悪い人はいないと信じたいのですが、中には心無い人がいるんですね。残念な事です。最後にこの掲示板を通じて声を大にして言いたい!!!ルール、マナーを守れない人は富士山に登る資格はないぞ!!!小学生でもゴミはゴミ箱に捨てる事を知ってるぞ!!!恥ずかしいとは思わないか!!!

イベント情報

第2回富士宮市 うるおいの森植樹祭

日 時:11月12日(日)9:45集合
場 所:富士山市有林・大根野
問い合わせ:富士宮市水とみどりの課
TEL/0544-22-1155

紅葉に親しむ

日 時:11月19日(日)10:00~
場 所:箱根
問い合わせ:三島・自然に親しむ会 望月
FAX/0559-73-6628

第18回ナショナル・トラスト 全国大会

日 時:11月24日(金)~26日(日)
主会場:清水町体育館
問い合わせ:財団法人柿田川
みどりのトラスト
TEL/0559-75-5454

募金の森・自生樹種の調査

日 時:11月26日(日)9:00~
場 所:富士山国有林・募金の森
問い合わせ:富士山自然の森づくり 仁藤
TEL・FAX/0544-24-9348

メールアドレスを 教えてください。

この度、「ふじさんネットワーク」の「メーリングリスト」を作成することにいたしました。会の代表の方、またそれぞれの会のメンバーの方でメールアドレスをお持ちの方、メールアドレスを事務局まで(3776@fujisan-net.gr.jp)お知らせください。

事務局通信

「富士山こども自然塾」 ご協力ありがとうございました

会員の方々のご協力により、この夏「ふじさんネットワーク」初の連携事業「富士山こども自然塾」を開催することができました。なかでも「富士山ナショナル・トラスト」の保坂会長はじめメンバーのみなさん、「富士常葉大学」の前田教授、山田助教授、佐野助手、「静岡大学」の土名誉教授には実際に子どもたちの指導をしていただき、大変ありがとうございました。



メールアドレスをお知らせ下さい

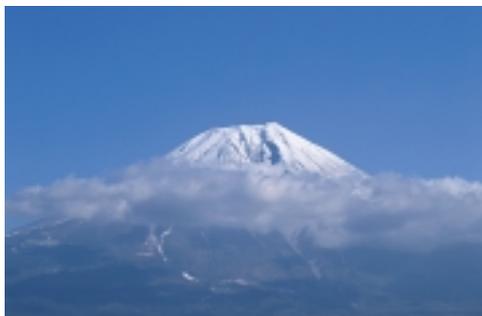
「ふじさんネットワーク」のメーリングリスト作成のため、会の代表の方、またそれぞれの会のメンバーの方でメールアドレスをお持ちの方、メールアドレスをお知らせ下さい。事務局からの様々な連絡、また会員のみなさんからの事務局への要望等、メールを活用することで、よりコミュニケーションを深めていきたいと考えています。お手数ですが事務局(3776@fujisan-net.gr.jp)までお知らせ下さい。

みなさんの活動をPRして下さい

情報誌の「MEMBERS」は会員のみなさんの活動を紹介するページです。みなさんの会、団体の活動をご紹介下さい。原稿をお待ちしています。

会員募集

「ふじさんネットワーク」は随時会員を募集しています。お気軽にお問い合わせ下さい。



「ふじさんネットワーク」事務局

〒420-8601
静岡市追手町9番6号
静岡県環境部富士山保全室内
TEL/054-221-3618
FAX/054-255-6495
URL/http://www.fujisan-net.gr.jp/
E-mail/3776@fujisan-net.gr.jp

富士山憲章

富士山は、その雄大さ、気高さにより、古くから人々に深い感銘を与え、「心のふるさと」として親しまれ、愛されてきた山です。

富士山は、多様な自然の豊かさとともに、原生林をはじめ貴重な動植物の分布など、学術的にも高い価値を持っています。

富士山は、私たちにとって、美しい景観や豊富な地下水などの恵みをもたらしています。この恵みは、特色ある地域社会を形成し、潤いに満ちた文化を育ててきました。

しかし、自然に対する過度の利用や社会経済活動などの人々の営みは、富士山の自然環境に様々な影響を及ぼしています。富士山の貴重な自然は、一度壊れると復元することは非常に困難です。

富士山は、自然、景観、歴史・文化のどれひとつをとっても、人間社会を写し出す鏡であり、富士山と人との共生は、私たちの最も重要な課題です。

私たちは、今を生きる人々だけでなく、未来の子供たちのため、その自然環境の保全に取り組んでいきます。

今こそ、私たちは、富士山を愛する多くの人々の思いを結集し、保護と適正な利用のもとに、富士山を国民の財産として、世界に誇る日本のシンボルとして、後世に引き継いでいくことを決意します。

よって、静岡・山梨両県は、ここに富士山憲章を定めます。

- 1 富士山の自然を学び、親しみ、豊かな恵みに感謝しよう。
- 1 富士山の美しい自然を大切に守り、豊かな文化を育もう。
- 1 富士山の自然環境への負荷を減らし、人との共生を図ろう。
- 1 富士山の環境保全のために、一人ひとりが積極的に行動しよう。
- 1 富士山の自然、景観、歴史・文化を後世に未長く継承しよう。

平成10年11月18日

静岡県
山梨県

『富士山カントリーコード』

10の約束、美しい富士山をあなたと共にいつまでも
策定:富士山地域環境保全対策協議会

- 1 「美しい富士山を後世に引き継ぐ」
- 2 「ゴミは絶対捨てずに、すべて持ち帰る」
- 3 「ゴミになるようなものを最初から持っていけない」
- 4 「登山道はずれて歩かない」
- 5 「登頂記念の落書きをしない」
- 6 「車道外へ車両等を持ち入れない」
- 7 「溶岩樹型等の特殊地形を壊さない」
- 8 「駐車場ではアイドリングをしない」
- 9 「動植物を採らない」
- 10 「トイレなど公共施設をきれいに使う」